

海洋環境等の激変を乗り越え我が国漁業を再生するための 特別決議

海洋環境の激変による漁獲量の大幅な減少と来遊魚種の変化、磯焼けをはじめとする漁場環境の極端な機能低下等は、日本漁業に深刻な打撃を与え続けている。

このまま事態を看過し、日本漁業が存続できなくなれば、これまで漁業者・漁協が担ってきた安心安全な水産食料の安定供給による食料安全保障や沿岸域の環境・生態系保全、国境監視機能や海難救助といった国民生活に必要な役割を果たしていくことが困難となる。

こうした事態を打開し、資源と環境を同時に回復させるため、資源管理に加え、漁場環境整備事業等の大幅な拡充・強化により、資源培養効果を有する有機魚礁等の設置や産卵礁・藻場・干潟の保全・回復、効果的な種苗放流や貝殻敷設による底質改善、栄養塩の供給管理等、資源を増大させる施策を湾・灘ごとにパッケージで全国展開するとともに、漁業者の自己改革を後押しするためにも、漁協の経営基盤の強化に向けた、漁獲量を増大するためのあらゆる支援の実現が急務となっている。

ついては、国に対し、豊かな海づくりに向けた漁場の大改造を実現するため、従来の額や枠組みにとらわれない異次元の水産予算の拡充・強化を強く求めるものである。

2026年6月18日

全国漁業協同組合連合会 通常総会